



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年5月14日

上場会社名 株式会社ステムセル研究所 上場取引所 東  
 コード番号 7096 URL <https://www.stemcell.co.jp/corporate/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 崇文  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 谷 勝弘 (TEL) 03-6811-3230  
 定時株主総会開催予定日 2024年6月26日 配当支払開始予定日 未定  
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期の業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	2,481	18.6	413	39.1	417	38.9	310	57.0
2023年3月期	2,091	17.4	297	31.1	300	41.3	198	48.1

  

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	30.35	—	12.5	6.8	16.7
2023年3月期	19.33	—	9.0	5.4	14.2

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 -百万円 2023年3月期 -百万円

経営成績に関する注記

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	6,543	2,692	41.2	262.78
2023年3月期	5,811	2,298	39.6	224.33

(参考) 自己資本 2024年3月期 2,692百万円 2023年3月期 2,298百万円

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	334	△811	△1	2,845
2023年3月期	99	△285	△0	3,324

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	25.00	—	0.00	25.00	—	51.2	—

## 3. 2025年3月期の業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	20.9	600	45.0	600	43.8	500	60.8	48.80

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2024年3月期	10,246,600 株	2023年3月期	10,246,600 株
2024年3月期	46 株	2023年3月期	46 株
2024年3月期	10,246,554 株	2023年3月期	10,246,558 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 事業計画及び成長可能性に関する事項の開示を予定している時期

次回の開示は、2024年6月下旬を予定しております

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	1
(1) 当期の経営成績の概況	1
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

株式会社ステムセル研究所は「あたらしい命に、新しい医療の選択肢を。」をコーポレートスローガンに、日本全国の産婦人科施設との強固なネットワークを活用し、再生医療・細胞治療を目的とした「さい帯血」や「さい帯」等の周産期組織由来の細胞バンク事業及びそれらの細胞等を利用した新たな治療法、製品の開発を行っております。そしてこの事業基盤をベースとして再生医療やフェムテック領域等での事業開発及び投資等によるサステナブルな成長と社会への貢献を目指しております。

#### (事業の概況について)

当期は当社主事業である、出産時にのみ採取可能な「さい帯血」や「さい帯」を将来の利用（主に再生医療）に備えて保管する「細胞バンク事業」において、コロナ禍中に制限されていた当社の主要なマーケティングチャネルである、医療機関におけるスピーチやPR等のリアル・マーケティングが大きく回復し、オンライン広告、SNS等のデジタル・マーケティングとの相乗効果を上げました。また昨年6月には細胞の保管意義の更なる向上を目的に「さい帯」を保管されるご家族向けに、組織の再生を促す成長因子や細胞間の情報伝達物質（エクソソーム）等を含む培養上清液を作成するサービスを開始した事により「さい帯血」を保管される方の「さい帯」保管率が直近で約50%まで高まっております。

この結果、「細胞バンク事業」における検体の保管数は過去最高を更新、当社の中期的な目標である国内出生数に対する保管率3%に向け順調に推移しております。

また、当社は約50億円の投資可能資金（株式・長期預金及び金融機関よりの無担保無保証融資枠含む）を有しており、これらをもとに当社独自のネットワークにより得られる情報をベースとした事業投資を行っております。

当期においては、昨年6月に投資先一社が上場、また8月には新たに最先端の3Dプリンティング技術を用いて「赤ちゃんの頭のかたちのゆがみ」を矯正するヘルメット（医療機器）の開発、製造、販売を行っている株式会社ジャパン・メディカル・カンパニー（東京都中央区、代表取締役CEO 大野秀晃）への投資を実行いたしました。この他にも、国内外で複数の案件に対する投資を検討しており、今後もM&Aも含め積極的に推進して参ります。

当社はESG活動にも注力しており、社員の働く環境の改善を目的に昨年5月に本社を東京都港区虎ノ門に移転、横浜細胞処理センター（横浜CPC）に新たにオフィスを開設致しました。そして、昨年9月には持続可能な社会への貢献を目的としたチャリティコンサートを実施しております。

#### (研究開発活動について)

「さい帯血」を用いた再生医療分野につきましては、国内では高知大学医学部附属病院小児科において脳性麻痺児に対する臨床研究が順調に進んでおります。

大阪公立大学大学院医学研究科発達小児医学教室を中心としたグループでは低酸素性虚血性脳症（HIE）児に対する臨床研究も引き続き進められております。また、同グループとは昨年6月に「自閉症スペクトラム障害に対する自家臍帯血有核細胞を用いた治療法の開発」を開始する事を決定し公表、2024年の臨床研究開始に向け準備を進めています。米国においては、FDA認可のもとデューク大学で進められている脳性麻痺児等へのさい帯血投与プログラムへ、当社でさい帯血を保管されている方々が参加されるケースが増加しており、その結果も良好です。

「さい帯」を用いた研究開発につきましては、大阪大学大学院医学系研究科スポーツ医学教室と設立した「運動器スポーツバイオメカニクス学講座」において、新たな半月板治療法の開発を推進しております。また、東京大学医科学研究所セルプロセッシング・輸血部及び東京大学医学部附属病院ティッシュ・エンジニアリング部との小児形態異常等の先天性疾患に対する治療法の開発も、引き続き推進しております。

これらの活動の結果、当事業年度における売上高は2,481,193千円（前年同期比18.6%増）、営業利益は413,759千円（前年同期比39.1%増）、経常利益417,271千円（前年同期比38.9%増）、当期純利益は310,981千円（前年同期比57.0%増）と、全ての項目で過去最高を更新しております。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (資産)

当事業年度末における資産合計は6,543,075千円となり、前事業年度末に比べ731,459千円増加いたしました。流動資産は4,515,040千円となり、前事業年度末に比べ30,422千円減少いたしました。これは主に、売掛金が447,484千円増加した一方で、長期預金へ500,000千円を振り替えたことにより、現金及び預金が478,480千円減少したことによるものであります。固定資産は2,028,034千円となり、前事業年度末に比べ761,881千円増加いたしました。これは主に長期預金が500,000千円、投資有価証券が269,596千円増加したことによるものであります。

### (負債)

当事業年度末における負債合計は3,850,459千円となり、前事業年度末に比べ337,432千円増加いたしました。流動負債は3,760,022千円となり、前事業年度末に比べ328,449千円増加いたしました。これは主に、前受金が325,485千円増加したことによるものであります。固定負債は90,437千円となり、前事業年度末に比べ8,983千円増加いたしました。

### (純資産)

当事業年度末における純資産合計は2,692,615千円となり、前事業年度末に比べ394,026千円増加いたしました。これは主に、当期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末と比べ478,480千円減少し、2,845,540千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において営業活動の結果得られた資金は、334,625千円（前事業年度は99,672千円）となりました。これは主に、税引前当期純利益を441,327千円計上したこと及び保管検体数の増加に伴い前受金が325,485千円増加した一方、売上債権が447,484千円増加したことによるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において投資活動の結果使用した資金は、811,773千円（前事業年度は285,100千円）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出500,000千円、投資有価証券の取得による支出199,900千円、有形固定資産の取得による支出183,457千円によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において財務活動の結果使用した資金は、1,333千円（前事業年度は869千円）となりました。これは、リース債務の返済による支出1,333千円によるものであります。

#### (4) 今後の見通し

当社の主事業である「細胞バンク事業」においては、デジタル・マーケティング（Web広告、SEO、オンラインセミナー等）とリアル・マーケティング（産科施設における母科学級等でのスピーチ等）を着実に推進することにより、中期的（2028年3月期）に保管検体数を出生数の3%程度まで高める事で業績を拡大し、同じく中期的な経営目標である営業利益率30%を達成して参ります。

そして、これらの細胞等の活用を推進する事で、より多くの方が新しい医療（再生医療）の恩恵を受けられる世の中を目指して、事業活動を行って参ります。

また当社の強みである、全国約2,000か所の産婦人科医院及び年間約75万人の妊婦さんとその関係者の方々へアプローチできる当社独自のネットワークを活用して新たなプロダクトやサービスの開発を、もう一つの当社の強みである強固な財務基盤をベースに、関連する企業への出資やM&Aを含めて積極的に推進して参ります。

当社は、2024年3月期におきまして、会社設立以来過去最高の売上高及び利益を計上し、2025年3月期第1四半期においても投資先の株式売却による特別利益136,939千円の計上（本投資における株式売却益合計は159,266千円）を予定しており、当社が2024年8月5日に設立25周年を迎えることから、2024年9月30日を基準日とし、特別に1株あたり25円の記念配当（設立以来初配当）を実施する予定です。

以上により、2025年3月期は、売上高3,000,000千円、営業利益600,000千円、経常利益600,000千円、当期純利益は500,000千円とそれぞれの項目で過去最高の数値を見込んでおります。

#### (5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針です。なお、国際会計基準の適用については国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,324,021	2,845,540
売掛金	1,140,826	1,588,310
原材料及び貯蔵品	39,352	42,262
前払費用	43,587	39,731
その他	1,514	3,516
貸倒引当金	△3,839	△4,322
流動資産合計	4,545,462	4,515,040
固定資産		
有形固定資産		
建物	616,509	635,325
工具、器具及び備品	515,661	595,071
リース資産	6,060	9,906
減価償却累計額	△490,176	△575,147
有形固定資産合計	648,055	665,155
無形固定資産		
ソフトウェア	24,532	21,809
ソフトウェア仮勘定	—	19,800
無形固定資産合計	24,532	41,609
投資その他の資産		
投資有価証券	243,301	512,897
役員に対する長期貸付金	133,050	133,050
関係会社株式	16	16
関係会社長期貸付金	5,404	5,404
長期前払費用	1,331	7,448
長期預金	—	500,000
繰延税金資産	44,207	5,334
その他	166,252	157,118
投資その他の資産合計	593,565	1,321,270
固定資産合計	1,266,152	2,028,034
資産合計	5,811,615	6,543,075

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	30,186	35,300
未払金	129,852	91,043
未払費用	17,366	20,803
未払法人税等	62,446	88,930
前受金	3,095,007	3,420,493
リース債務	1,333	2,108
預り金	8,031	8,822
賞与引当金	48,658	50,500
その他	38,688	42,018
流動負債合計	3,431,572	3,760,022
固定負債		
役員退職慰労引当金	21,013	27,681
リース債務	4,555	6,676
資産除去債務	55,886	56,079
固定負債合計	81,454	90,437
負債合計	3,513,026	3,850,459
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	704,805	704,805
資本剰余金		
資本準備金	589,805	589,805
資本剰余金合計	589,805	589,805
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,007,405	1,318,386
利益剰余金合計	1,007,405	1,318,386
自己株式	△91	△91
株主資本合計	2,301,924	2,612,906
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,336	79,708
評価・換算差額等合計	△3,336	79,708
純資産合計	2,298,588	2,692,615
負債純資産合計	5,811,615	6,543,075



## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	2,091,293	2,481,193
売上原価	755,450	905,311
売上総利益	1,335,843	1,575,882
販売費及び一般管理費	1,038,282	1,162,122
営業利益	297,560	413,759
営業外収益		
受取利息	1,868	3,527
助成金収入	412	698
協賛金収入	—	3,342
雑収入	523	587
営業外収益合計	2,804	8,155
営業外費用		
解決金	—	2,117
業務委託費	—	2,526
営業外費用合計	—	4,643
経常利益	300,365	417,271
特別利益		
投資有価証券売却益	—	22,327
その他	—	1,746
特別利益合計	—	24,074
特別損失		
本社移転費用	21,407	—
固定資産除却損	—	17
特別損失合計	21,407	17
税引前当期純利益	278,957	441,327
法人税、住民税及び事業税	95,332	128,123
法人税等調整額	△14,408	2,222
法人税等合計	80,924	130,346
当期純利益	198,032	310,981

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	704,805	589,805	589,805	809,372	809,372	—	2,103,983
当期変動額							
自己株式の取得						△91	△91
当期純利益				198,032	198,032		198,032
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	198,032	198,032	△91	197,941
当期末残高	704,805	589,805	589,805	1,007,405	1,007,405	△91	2,301,924

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	—	—	2,103,983
当期変動額			
自己株式の取得			△91
当期純利益			198,032
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△3,336	△3,336	△3,336
当期変動額合計	△3,336	△3,336	194,604
当期末残高	△3,336	△3,336	2,298,588

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	704,805	589,805	589,805	1,007,405	1,007,405	△91	2,301,924
当期変動額							
自己株式の取得							—
当期純利益				310,981	310,981		310,981
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)							
当期変動額合計	—	—	—	310,981	310,981	—	310,981
当期末残高	704,805	589,805	589,805	1,318,386	1,318,386	△91	2,612,906

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	△3,336	△3,336	2,298,588
当期変動額			
自己株式の取得			—
当期純利益			310,981
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)	83,045	83,045	83,045
当期変動額合計	83,045	83,045	394,026
当期末残高	79,708	79,708	2,692,615

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	278,957	441,327
減価償却費	104,932	120,594
本社移転費用	21,407	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,272	482
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,914	1,842
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	12,293	6,668
受取利息及び受取配当金	△1,868	△3,527
固定資産除却損	—	17
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△22,327
売上債権の増減額 (△は増加)	△546,350	△447,484
棚卸資産の増減額 (△は増加)	796	△2,909
仕入債務の増減額 (△は減少)	228	5,114
未払金の増減額 (△は減少)	6,492	9,551
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△17,470	3,702
前受金の増減額 (△は減少)	349,926	325,485
その他	△10,088	3,727
小計	207,442	442,264
利息及び配当金の受取額	1,528	3,022
法人税等の支払額	△109,299	△110,661
営業活動によるキャッシュ・フロー	99,672	334,625
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△500,000
定期預金の払戻による収入	1,000	—
投資有価証券の取得による支出	△143,010	△199,900
投資有価証券の売却による収入	—	72,327
有形固定資産の取得による支出	△56,056	△183,457
無形固定資産の取得による支出	△3,847	△18,199
敷金及び保証金の差入による支出	△47,940	△6,782
その他	△35,246	24,238
投資活動によるキャッシュ・フロー	△285,100	△811,773
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△777	△1,333
自己株式の取得による支出	△91	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△869	△1,333
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△186,297	△478,480
現金及び現金同等物の期首残高	3,510,318	3,324,021
現金及び現金同等物の期末残高	3,324,021	2,845,540

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社の事業セグメントは、細胞バンク事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	224.33円	262.78円
1株当たり当期純利益	19.33円	30.35円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	198,032	310,981
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	198,032	310,981
普通株式の期中平均株式数(株)	10,246,558	10,246,554

(重要な後発事象)

(有価証券売却益の計上)

当社が保有する投資有価証券の一部を売却したことにより、投資有価証券売却益が発生いたしました。

概要は以下のとおりであります。

## 1. 投資有価証券売却の理由

投資資金の回収及び新たな投資に備えて、当社が保有する投資有価証券を売却したことによるものです。

## 2. 投資有価証券売却の内容

- (1) 売却株式：当社保有の上場有価証券 1銘柄
- (2) 売却期間：2024年4月3日～2024年4月10日
- (3) 投資有価証券売却益：136百万円

## 3. 損益に与える影響

当該投資有価証券売却益につきましては、2025年3月期第1四半期決算において投資有価証券売却益136百万円を特別利益として計上する予定です。